

令和5年度ふるさと浦安作品展小学校の部特別賞作品データベース

市長賞 「浦安の海はどんな味？」 小学校4年生

【本人コメント】

浦安の人々にとって海は生活の一部だったと学びました。調べると、漁業や海苔養殖だけでなく江戸を支える塩を生む海でもありました。その塩は、どんな味だったのだろうか？タイムスリップする気持ちで浦安の海水をくんで回りました。生き物の気配のある海。護岸に囲まれた海。ゴミの多さに驚いた海。猛暑の夏、煮詰めて取り出した塩の結晶。顕微鏡で観察し舐めてみると、今まで少し遠かった海がグッと近くなった気がしました。

【評価コメント】

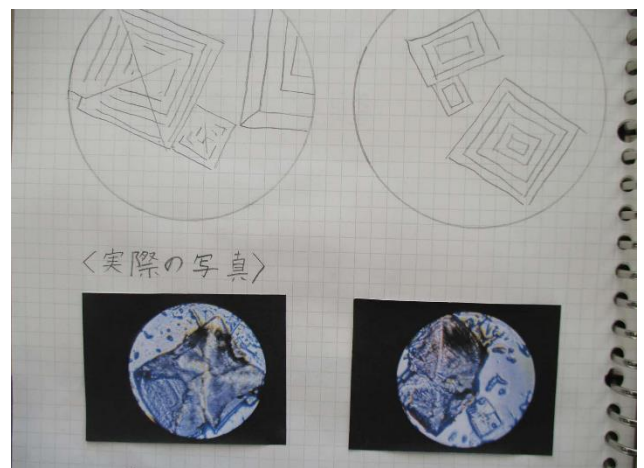
全体の構成がよく整い、「比較研究のお手本」と言ってもよいたいへん質の高い作品です。浦安の3地点で採取した海水から作った塩を、さまざまな観点で五感を通して比較しています。その結果からよく考察し、自分の考えを的確に表現できました。科学的な思考に優れています。この研究で、昔浦安で作っていた塩の面影に出会い、浦安の海を思い、ふるさと愛を深めることができましたね。

【作品発表会原稿】

「浦安の海はどんな味？」というテーマで自由研究をまとめました。浦安は海に囲まれています、その海から採取した海水を使って、塩の結晶を取り出して、そこからわかることをいろいろな方法でまとめました。授業や郷土博物館での学習を通して、浦安の人々にとって「海は生活の一部」だったと学びました。でも、今の私たちの生活の中で「海」を身近に感じるようなことはあまりありません。浦安の魚を食べることはなく、この辺りの海苔もめったに食べられません。昔に比べて、海との距離は、少し遠くなってしまいました。でも、研究を通して、昔、浦安市と行徳のあたりに大きな塩田があったということを知りました。浦安の海は、漁業や海苔養殖だけでなく、江戸を支える「塩」を生む海でもあったということを知りました。その時に、昔の浦安の人と同じ海を知ることができるのは、ひょっとしたら「塩」ではないかと、そんな気がしました。昔の人々が口にした塩は、いったいどんな味だったのだろうか？今と変わらなかったのだろうか？そんなことを考え、浦安の海の水を採取し、自分で塩の結晶を取り出してみようと考えました。実際に始めてみると、それはそんなに簡単なことではありませんでした。三番瀬のように生き物たちの活動が盛んな海もあります。安全を重視して護岸がコンクリートに覆われていて入るのが大変な海もありました。猛暑のせいもあってゴミや汚れが悪臭を放つ場所などもありました。そこが一番の苦労した部分でした。でも、それが浦安を取り囲む今の海の姿でした。いろいろな場所で採取した海水は、塩を取り出す過程で、それぞれの姿に変化していきました。色や、匂い、舐めてみた時の味を含めて同じ海で繋がっているはずなのに、それぞれの海の特徴がありました。そして、そんな違いを通して、浦安の昔の塩の味を少し感じることができました。海は、思っていたよりも、身近な場所にあったんだなと感じることができました。今の浦安の海の塩は、昔の海の味とは少し違うかもしれません。そして、昔に比べて、人々と海との距離が遠くなったかもしれません。「浦安の海はどんな味？」という自由研究の答えは、私たちのこれからの海との関わり方にも関係するヒントだなあと感じました。塩の結晶が表すのは、私たちの海との関わり方の味なんだと、この研究を通して、そう感じるようになりました。



1



教育長賞 「うらやすにおちているゴミ」 小学校1年生

【本人コメント】

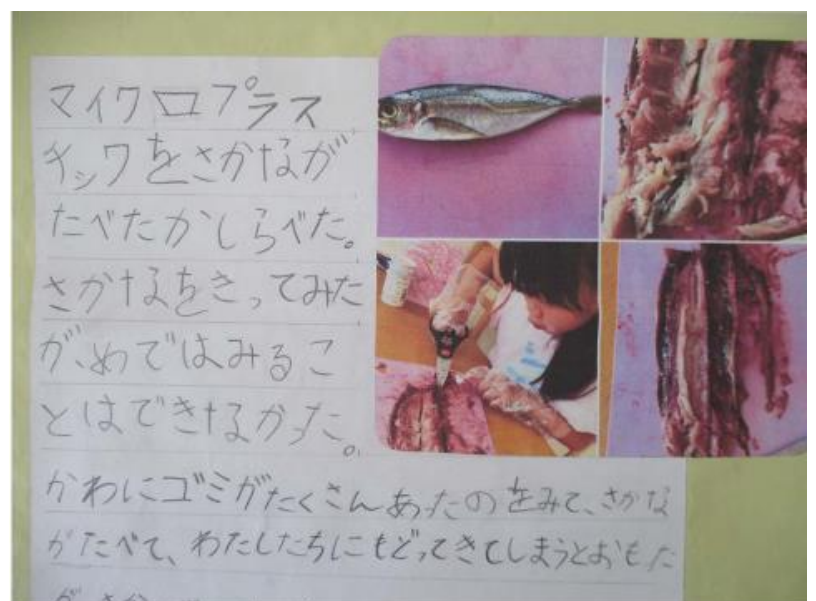
このけんきゅうを はじめたきっかけは、さかなが プラスチックをたべて、それがじぶんにかえてくることをしり、じぶんにできることはないかと おもったことからです。とくに、さかいがわにういている たくさんのゴミを みてほしいです。ゴミがおちていないうらやすにしていきたいです。

【評価コメント】

小学校1年生のごみに対する熱い思いが胸を打つ作品です。予想→調査→結果→考察という研究スタイルも確立されていて、素晴らしいです。真ん中の地図と調査の写真や結果が関連付けられ、全体の構成がよく工夫されています。とても分かりやすいです。魚を解剖してまでも疑問に思ったことを解明しようとした強い気持ちに感動しました。

【作品発表会原稿】

うらやすのごみについてしらべました。なぜ、わたしがうらやすのごみについてしらべたかという、さんばんせのごみひろいにいってはじめてマイクロプラスチックについてしったあと、「マイクロプラスチック・ストーリー」というえいがをみて、さかながプラスチックをたべて、それがじぶんにかえてくることをしり、じぶんにできることをしらべてみたいとおもったからです。わたしは、うらやすにどれだけのプラスチックゴミがおちているのかをしらべました。ひがししょうがっこうのちかくで、きになったばしょを5こきめて、1じかんずつひろいました。ペットボトルやビニールぶくろなどのプラスチックだけでなく、たばこやカンもたくさんあってびっくりしました。さかなをきって、なかにプラスチックがはいっているかもみてみました。めでみることはできなかったけど、さかいがわにゴミがたくさんあったので、きれいにしたいとおもいました。このさくひんをつくるのにくろうしたところは、あついなかで1じかんずつゴミひろいをしたことです。とくに、くさのなかにはたくさんゴミがあってとりづらかったです。わたしがこのさくひんでつたえたかったことは、そとでゴミをすてないで、いえにもってかえてすててほしいということです。あと、こうえんやみちにゴミばこがあったらいいなとおもいました。プラスチックのものをできるだけつかわないようにして、ものをたいせつに、ながくつかっていきたいです。



教育長賞 「浦安からでた汚水はどこに行くのか」 小学校4年生

【本人コメント】

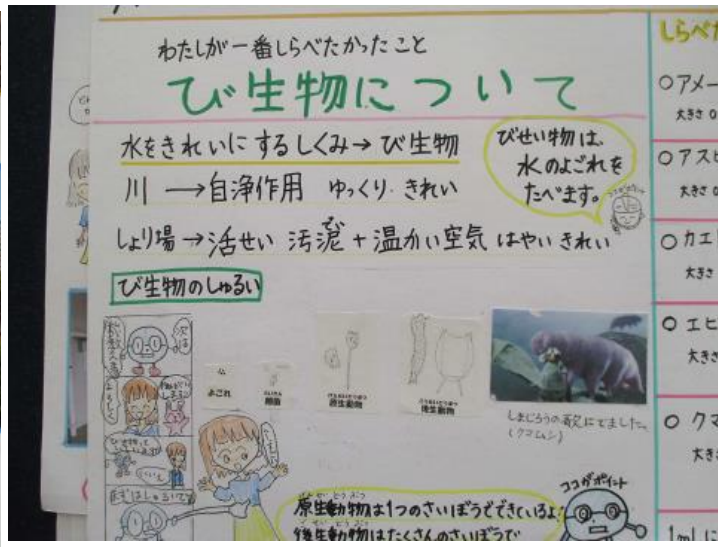
家や学校で、何気なく流している水がどこに行くのかを知りたくて研究しました。汚水をきれいにするためには、たくさんのエネルギーがひつようとされていました。特に、び生物が水をきれいにすることにとってもびっくりしました。水を大切に使い、ひつようないものは流さないようにしたいと思いました。

【評価コメント】

身近な生活の中から課題を見つけ、実際の見学やインタビューを通して課題解決をしていく過程がよくまとめられています。写真やイラスト、四コマまんが等を活用し、表現方法が工夫されており、とても親しみやすい作品です。汚水の行方や処理場の機能がよく伝わり、水を大切にする気持ちや汚水への意識を高めなければと思わせられました。

【作品発表会原稿】

私は、昨年度から、ふるさと浦安作品展に出品しています。出品理由は、浦安の勉強をしたことで、浦安のことを知り、多くの人に浦安のよさを知ってもらいたいと思ったからです。今回、このような賞をいただいたことで、浦安からでた汚水について、みなさんに知ってもらうきっかけになればと思います。私の作品名は、「浦安から出た汚水は、どこに行くのか」です。なぜ、私が浦安市から出る汚水はどこに行くのかを調べたかというと、絵の具セットを洗っている時、この水はどこに行くかを調べてみたかったし、家や学校で何気なく、流している汚れた水は、どこに行って、どうなるのかを知りたいと思ったからです。この作品を作るのに苦労したことは、自転車で、ポンプ場や污水管などを探しながら見てまわったことです。今年は、特に猛暑だったので、とても暑くて大変でしたが、その中でも、家族も一緒に応援してくれました。家族にもいい報告ができてうれしいです。実際に、下水処理場の方に取材にも行きました。そこで、見せてもらったことはどのように水を機械がきれいにしているのかを見せてもらって、この機械を発明した人はすごいなと思いました。教えてもらったことは、水は、機械だけではなく、び生物も働いていると教えてもらい、びせい物はたくさんの汚れた水を食べていて大変だと感じました。この研究で、浦安市で流した汚水は、江戸川第二終末処理場へ運ばれて、機械や微生物など、たくさんのエネルギーを使ってきれいにされ、川に流されることがわかりました。もっと水を大切に使い、様々なことに気を付けて流さなければならないと感じました。2学期に入って、江戸川第二終末処理場などで、働いている下水道公社の方々や学校に来て、出前授業をしてくださいました。学校でも勉強したことで、さらに水を大切にすることや、なるべく油や洗剤を流さないようにしたいという思いが強まりました。



教育長賞 「うらやす カードバトル」 小学校6年生

【本人コメント】

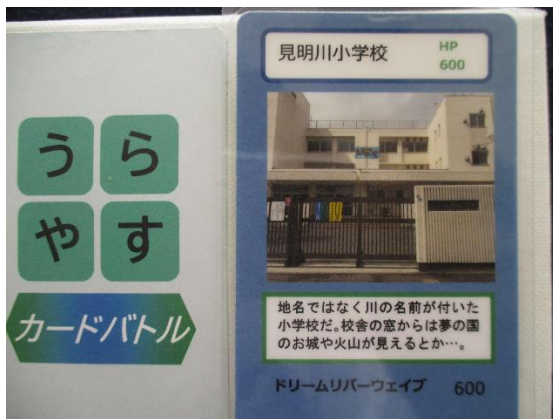
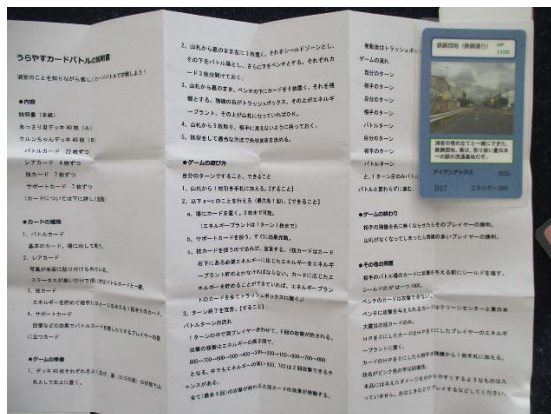
この作品は、浦安の施設や名産品、歴史などを調べ、カードバトルして遊べるようにパソコンを使って作りました。カードにするものを決め、写真を撮影しにいきました。印刷後、一枚一枚ラミネートし、レアカードにはホログラムシールを貼る工夫をしました。楽しく遊びながら、浦安について詳しくなってください。

【評価コメント】

自分の趣味や特技を生かして、大変努力し、工夫して仕上げた作品です。店に並んでいるものかと思うくらいクオリティーの高さを感じます。写真撮影や調査にも時間をかけており、各カードの情報量が豊富で、その質も高いです。多くの子どもがゲームをしながら、浦安を好きになるきっかけとなる素敵な作品です。

【作品発表会原稿】

ふるさと浦安作品展でぶくの作品「浦安ガードバトル」を選んでいただきありがとうございます。4年生から3年連続で毎年応募して初めて選ばれてとっても嬉しいです。この作品を作ろうとした理由は主に2つあります。まず、浦安への愛です。郷土博物館のジュニア学芸員コースを受けたり、浦安に住んだりしているうちに浦安の歴史などを知り、浦安の魅力をもっとみなさんに知ってもらいたいと思いました。そして、何よりも楽しく知ってもらうために僕の好きなカードゲームなら浦安の多くの場所、名産物、歴史などを楽しく知ってもらえるのではないかと思います。カードゲームを題材にして作ることにしました。この作品は自作のオリジナルルールで浦安のことを知りながら遊べる対戦カードゲームです。まず、浦安の中でカードの題材にしたい場所、名産物、出来事などを選び、ノートに書きだしました。題材を決めたらその教材を資料やインターネットで調べて、両親に車で連れて行ってもらったり、場所を教えてもらったりして実際の写真を撮りに行きました。作品を作り始めてから、毎日少しずつ作品に取り組みました。とても長い時間を使いましたが、行ったことのない場所であり、新しいことも知れて自分も楽しく作品作りに取り組みめたので良かったです。印刷用の切り切り取り型カード、ラミネート用具、ホログラムシール、外箱用の箱は浦安市内の店で買いました。そして、パソコンのワードの使い方を両親に教えてもらい、ワードでカードをデザインし、ラミネートフィルムをかけて1枚ずつラミネーターでラミネートしました。自分で作るのはとても楽しかったですが、いざ作ろうとすると説明文を考えたりオリジナルルールをつくったりするのがとても難しかったです。また、日頃よく遊ぶカードゲームのプレイ時間と比べて作戦時間が長いということを改めて感じました。かつての浦安の様子や、浦安の歴史など、浦安についていろいろな場所の建設日などもわかりました。たくさんのことを調べ、特に各校の児童数、生徒数の差に興味を持ちました。来年は中学生になりますが、また浦安のことを調べてふるさと浦安作品展に応募したです。情報をもっと多くして浦安市の魅力を別の方法で伝えたいです。



優秀賞 「うらやすでのぼうさい・ぼうはんたいけん」 小学校2年生

【本人コメント】

今年はいっぱい防災のイベントに参加しました。イベントを通じて防災に興味をもち、防災の自由研究をやりうと思いました。防災の研究をやって、いっぱい備えをしていることがわかりました。特に、「じしん」のデータを集めるのを頑張ったので、「じしん」について見てほしいです。

【評価コメント】

多くの体験から五感を通して学んだことがとてもよくまとめられている作品です。2年生とは思えないくらいの完成度です。資料や写真も上手に配置し、見やすく、分かりやすい内容になっています。体験ごとに「学んだこと」「かんそう」と分けてまとめられています。自分の気持ちや考えがよく表現され、素晴らしいです。

優秀賞 「ぼくの街（浦安）安全ですか？」 小学校5年生

【本人コメント】

「浦安市は治安がいい」と話を聞いて安心しましたが、心のどこかでは「1か月間で35件以上も犯罪があるのに『治安がいい』というのかな。」と思いました。自分でできる小さな「気を付ける」対策で変わっていけるよう、周りの人達にも伝えて、堂々と「治安がいい」と言えるようにしたいです。

【評価コメント】

努力して現地取材や調査を行い、地図や表、イラストを効果的に使ってまとめています。警察官へのインタビューは内容がしっかりとしています。その結果から、自分ができることを導き出しているところが素晴らしいです。「友達や家族を大事にする」ことから始め、さらにみんなの防犯意識が高まっていくことを期待したいですね。

優秀賞 「マンガで学ぶ 浦安いろいろ」 小学校6年生

【本人コメント】

浦安の昔の事を低学年の子にも分かりやすく伝えるために、マンガを作りました。手に取った人に楽しんでもらえるように、大好きなぬいぐるみを登場させて可愛くしたり、笑える場面やクイズを取り入れたりしました。作るのにとても時間がかかったけれど、27ページの大作マンガができて、うれしかったです。

【評価コメント】

ジュニア学芸員の豊富な知識の中から情報を精選し、分かりやすく、親しみやすい作品に仕上げました。マンガによる説明で表現されていく中、自らも楽しんでまとめているのが感じられ、好感が持てます。マンガだけでなく、写真や資料も効果的にレイアウトされています。場面ごとに“ゆづ”の服装が変わっていくなど、細かい配慮と工夫に満ちた大作です。

優秀賞 「〇〇があと約20年」 小学校6年生

【本人コメント】

なんと、1日に浦安市民は1人あたり470gのゴミを出しています。ゴミは一人一人の行動で減らすことができます。この本は、ゴミを減らすために私達ができることなどを書いています。これを読んで、ゴミに対する意識が高まるとうれしいです。作品名の〇〇の答えは、この本にのっています。ぜひ、探してみてください。

【評価コメント】

調査や見学、インタビューを通して研究を進め、自分が知りたかったことについて詳細にまとめたあげた大作です。浦安市の取組についても詳しく調べ、とても分かりやすく表現されています。「プラゴミを燃やすのは、焼却

炉の温度を上げるため」など、新たな発見が数多くある作品です。特に小中学生を対象にしたごみを減らす方策を提案しているところに、関心の高さが感じられました。